



NPO 法人  
**長浜観光ボランティア  
 ガイド協会**  
 〒526-0059  
 長浜市元浜町 14-12  
 湖北観光情報センター  
 電話 0749-65-0370  
 発行責任者・馬場智章

鯨の湖会のおもい

1. 真心を込めたおもてなしの心で、お客さまをあたたくお迎えします。
2. 地域の歴史や文化、豊かな自然を温かい人情とともにお客さまにお伝えします。
3. 常に幅広い知識を身につけ、魅力ある文化観光都市長浜の発展につくします。

謹んで新年のお祝辞を申し上げます

会員の皆さまにおかれましてはご家族様共々、清々しい令和四年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年以来、コロナの波が幾度か打ち寄せらるなかで活動の休止を余儀なくされた期間が長くありました。昨年十月以降やっと本格的な活動が再開できたことは喜ばしいことで、この状況が維持されることを願うばかりですが、オミクロン株の脅威をはじめとして安心できない状況にあります。

活動再開後におけるガイド活動の特徴は、大手旅行社のツアーガイド（主に竹生島ガイド）が60%程を占めたことと、小中高校の校外学習や修学旅行案内が例年以上に多くあったことです。

竹生島ガイドは従来からありましたが、現状はその九割が大手旅行社の募集ツアーであり、コロナの影響で小グループによる旅行がまだまだ少ないことを物語っています。



理事長 馬場智章

待受けガイドでは、コロナによるJ・R利用者の減少により参加者数、実施日数とも減少しています。昨十月以降国内のコロナ「発症数」は大きく減少しましたが、私たちの活動にはいろいろな面でその影を落としており、今後の観光客の動向を注視し対応する必要があります。

明るい話題として、会員増強を図るため募集活動に注力した成果として、平成三十一年以降十四名の方が入会されたことは喜ばしい実績です。

これらの方々の入会と並行してコロナ問題が発生し活動休止を余儀なくされ、新人研修にも大きく影響しましたが、コロナの谷間を縫うようにして研修に励んで頂き、ひとり立ちして頂いており、今後のご活躍に期待を寄せております。

末筆となりましたが皆様方ご一家様の、ご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。

丁寧なおもてなしに感謝します



公益社団法人 長浜観光協会  
会長 岸本 一郎

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の状況が一応の落ち着きをみせ、秋以降は長浜への観光客もかなり戻ってまいりました。長浜観光ボランティアガイド協会の皆様におかれましては、丁寧なおもてなしにより、長浜を盛り上げていただきました。改めまして感謝申し上げます。

さて、今年は二月から政府の観光振興施策が再開されることで、観光需要も益々展をかわきりに、以前のように戻ると期待しております。しかし、観光客の動向は、コロナ禍以前とは変わるものと予想されます。従来の受入体制だけに囚われることなく、体験型観光や広域観光等の新たなニーズにも柔軟に対応できる観光地が求められると予想されます。当会も新たな観光に対応するべく、各団体、自治体と連携を深め、観光振興に努めてまいります。

本年も変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。



明けましておめでとうございます  
今年も、会員の皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年の前半は、コロナ禍のため、十分な活動ができませんでしたが、コロナが落ち着いた十月、十一月は会員の皆様のお力添えのおかげと、ガイド担当の皆さまのご努力で、多忙な時期を乗り切ることが出来ました。ありがとうございます。  
さて、令和四年の活動ですが、まず、盆梅展ガイドから始まります。昨年は、新型コロナの影響で私たちは、ガイドをする事が叶いませんでしたが今年は、二年分張り切って長

### 二年分の盆梅展と 新入会員への期待



副理事長 木村富久子

浜の盆梅展の素晴らしさをお客様にお伝えしたいと思っています。完全燃焼して充実感に満ちたいものです。  
次に昨年は、五名の新入会員の方が私たちの仲間入りをしてくださいました。この五人の精鋭は既に研修から実践の段階に入っております。  
おられ今後の活躍に期待しています。  
おがましいですが、私のつたない体験から申しますと、  
①ガイドはまず、第一印象がとっても大事、長浜の魅力と共に自分の魅力も少しばかりは売ること大事なこと。

②ガイドは、長浜の顔です。長浜の素晴らしさを、お客様に興味を持ってもらえるよう伝えること。それが、観光客誘致に繋がると思っています。  
つたない私の体験を列記しました。  
皆さんは、将来当協会を背負っていただく希望の星です。  
私も、老体に鞭打ってあと少し頑張ります。

今年も、理事長様はじめ、会員の皆さまと力を合わせて当協会の目の前のある出来ることから始めたいと思います。  
今年もご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

## 2年ぶり県外研修

### 大和郡山 薬師寺 報告 磯田 智

今年の県外研修は二月三日、秀吉の弟・秀長が築いた郡山城とその街中散策、及び西ノ京、薬師寺拝観を実施した。



薬師寺東塔の前で記念撮影。25名の参加があった。

郡山城址 午前中、郡山、二人のボランティアガイドの案内で郡山城址へ、この城は戦国時代筒井順慶により築城開始、秀吉の弟秀長の時代に紀伊、和泉、大和の三か国百万石の太守・大納言として大拡張工事を行う。城下町も長浜と同様、十三町を免租地に指定、自治組織をつくっている。広大な城域の中、印象的だったのは高さ八・五メートルの野面積の石垣で造られた天守台。殆どが転用石材で作られ、中には築石として利用されている「逆さ地蔵」がある。天守台からは大和一円が見渡され若草山、東大寺等も見える。城址には秀長関連と江戸中期からの柳沢家関連の神社、文庫等がある。

観光ガイドは居ないので、最初に「法話」を拝聴し、広い境内を予定した順番に拝観。  
薬師寺は七世紀後半天武天皇により飛鳥に建立され、平城遷都後、現在地へ移転。天平二（七三〇）年に現在の東塔が完成。平安中期の火災や室町時代の地震・戦火で被害を受けるが、今日なお創建時の東塔が残り、白鳳期の金堂・薬師三尊像など白鳳・天平時代の文化財を伝えている。昭和四〇年代から開始された復興事業で奈良時代の西塔・金堂・中門・僧坊・大講堂などが再建されている。これらの諸堂の中には国宝に指定されている「薬師三尊像」「聖観世音菩薩像」などと共に重文に指定されている「弥勒菩薩像」など数々の仏像・仏足石などが保存され拝観出来る。続いて玄奘三蔵院伽藍では三蔵法師で有名な玄奘三蔵の遺骨が納められその遺徳を偲び、大唐西域壁画殿では平山郁夫画伯がシルクロードを描いた大作を見ることが出来た。二時間半程度の拝観であったが、観音の里長浜人にとっては解説入りで仏像全般に亘る研修のため、半日費やす価値があったかと感じた。

街中見学は秀長関連史跡を見学した。ガイド方法として来場者に合わせて、訪問先、説明の仕方に気配りがなされていることに感心し、今回の研修のプラスされた意義も感じられ、お礼の言葉を残し郡山を後にした。  
薬師寺 午後からは平城京の西部、かつての右京の地に広がる世界遺産、薬師寺を巡る。

この度は私のような者が、誉ある賞を頂きまして本当に恐縮しております。会員の皆様方が、私事を差し置いて待ち受けガイドや竹生島ガイド等をなさっておられます。駅前ガイドと盆梅ガイドしかできない私がどうして？と正直思っております。

長浜市功績者表彰受賞 おめでとうございます

寒いホームで温かいゆず茶

寒いホームで案内をしている私に温かいゆず茶を差し入れて下さったお客様に出会った時、本当に感動致しました。そして心の底から「ありがとうございます」。また、全国からお越しの皆様からいただいた「温かいおもてなしをありがとう」の感謝の声も心に響きます。人様が喜んで下さる笑顔に暑さや寒さも吹き飛んでしまいます。ボランティアガイドに入れていただき、何もできない私をここまで引っ張って下さった代々理事長様や会員様に感謝の気持ち一杯です。本当にありがとうございます。

長浜市功績者表彰受賞 おめでとうございます

心温まるおもてなしをめざして

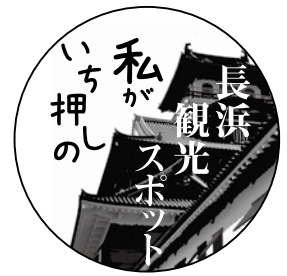
先人が残していただいた歴史と文化を通して、魅力とにぎわいのあるまちにご案内出来るか模索しつつ、ボランティアガイドの設立（昭和五九年）来携わり、三十七年間に在籍させていただき、お手伝いしております。  
思えば街並が、大型商業施設の立地、中心市街地活性化事業など一刻一刻と変貌する時代を目の当たりにしてまいりました。当時観光資源といえば、豊かな自然と貴重な歴史遺産の中、地域住民に寄り添う神社仏閣を中心とした文化の継承であったと思っております。  
その様な中であって日々、地域の観光資源を生かしつつ魅力づくりに精を出し、多くの方々が、この地に訪れて感動していただく機会づくりに努力しておりました。観光は、目で見て感動を享受していただくと共に、それを支えさせていただく案内ガイドが、いかにリーダーとして再来していただく機会づくりに精を出すかを考えてまいりました。  
ホスピタリティー（一期一会）の気持ちを肌身で感じ、新たな誘客づくりにまちづくりに邁進できる様、尚一層精進してまいりたいと思っております。

### 新入会員紹介 ボランティアガイドによせて 小林吉隆

会員の皆様、こんにちは。私は長浜市の広報にてボランティアガイドの募集を知り、応募いたしました小林と申します。地元企業に三十七年間お世話になり、一昨年に定年退職いたしました。以前より湖北地域の歴史と文化に興味があり、先日の体験研修に参加させて頂き、思えば一層強くなりました。実際に街中を歩きますと、いろんなことを再発見いたしました。また、大通寺の山門は、わが町先祖が建立された目には見えない「えいし」があるように思います。コロナウイルスも一時より影をひそめ、諸先輩方も活動を再開なされているようです。若輩ながら自己研鑽に努め、一人前のガイドになれるよう頑張る所存でございます。皆様方には何かと迷惑をおかけするとは思いますが、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

た、大通寺の宮大工のことなど、





上野町  
おうみこほうあん  
近江孤蓬庵  
近藤敏子

国道365号から木尾を過ぎ、孤蓬庵へと続く道から標高の高い山沿い辺りの集落地跡は段々に区分され、上野に接した小室は旧田根の荘の北東部に位置した小室藩の面影を残し、ためらう様な畦道の先のため池が点在する風景は長い年月の人々の自然の営みを守っておられる努力を感じる。大自然の中に身も心も溶け込ませてくれる静けさと豊かさはこういった所に来ないとその有難さには気づかない。

「松の木に登るとびわ湖が見え、竹生島の上に黒雲がでると雨がくる」と教えてくれた父の声がここに来ると不思議と聞こえてくるのだ。

五十年前前に姉川の橋を越えて旧浅井町へ嫁いだ私は、風習と因習にとりつかれていた。特に土葬で送った嫁ぎ先の両親の葬儀では、身内の方は白装束、袴、そして私は足袋裸足。地に両手をつき傘をさすことも



近江孤蓬庵の編笠門の前に立つ近藤敏子さん。

控えて葬列の会葬者に礼を尽くす。  
一方、田根村より早かった圃場整備事業は川遊びやホタル等の生物の住む拠点である曲がりくねった川や池を跡形もなくかき消し、川筋は向きを変え縦横に真つすくな人工水路が整然と造られていった。子供達の幼い頃に遊んだ川や池はもうない。心に繋がる故郷の土の匂いや川のせせらぎはどこへいったのだろう。そう思うと今にして因習もまた、受け止め方では、いにしへの温かなものであると

気づかせてくれる。

原風景に囲まれた孤蓬庵への山裾はいつの時も心を温め、この先行けば何があるのかなと思わせる遠州流の妙味でもあり極意ともいわれる赤土の三和土の緩やかな段々の参道に入ると、NHKの「仕事の流儀」で

紹介された北山安夫庭師と地元や近隣ボランティアとして関わった改修工事をいつも思い出す。

ここをガイド活動の地として書き加えるならば野草庵とも称される孤蓬庵の編笠門の心の関所で身を正し、ご住職の信仰と庭に寄せ熱い思いを汚さぬ様にと心してストーリーを考える。「雪の日の紅梅一輪」の逸話や地元元田根小学校の生徒へのエール歌である「五先賢の歌」を童謡の「だいこくさま」のメロディーにのせてお客様と一緒に歌わせて頂き、同じ旧浅井町民として古老から聞いた当地ならではの話を交えて、心に残る旅であります様にと願って案内している。

◎お知らせ

- ▼慶雲館清掃 1月7日(木) 午前9時より
- ▼盆梅展研修 1月11日(火) 13時30分より
- 南郷里まちづくりセンターにて
- ▼神照寺研修 1月18日(火) 1月28日(金) 13時30分より神照寺にて
- ▼英会話研修 1月20日(木) 13時30分より
- 南郷里まちづくりセンターにて

長浜観光ボランティア協会会報

「鯼の湖」 第一五二号

令和四年一月一日発行

発行人・馬場智章／編集人・山崎喜世雄

発行所・NPO法人長浜観光ボランティアガイド協会

長浜市元浜町14・12 四居家内